

原宿町八幡山遺跡 / 田谷町堤遺跡

横浜市戸塚区 No.121 / 横浜市栄区 No.111



1. 八幡山遺跡 1区 K1号竪穴状遺構



2. 八幡山遺跡 1区 中央 縄文時代遺構群



3. 堤遺跡 調査区全景



4. 堤遺跡 奈良・平安時代掘立柱建物址

●主な調査成果

原宿町八幡山遺跡では、近世、縄文時代、旧石器時代の遺構と遺物を発見することができました。縄文時代早期の竪穴住居址の中からは、黒曜石や安山岩等の細かな剥片類が大量に出土しており、これらの石材を打ち欠いて石鏃などの石器を作ったのではないかと推定しています。

田谷町堤遺跡では、五つの遺構面で土坑、ピット、溝状遺構などを検出しています。奈良・平安時代の遺構では規模の大きい掘立柱建物址が、調査区の最も標高の高い場所で検出されています。遺物は中世～近世の陶磁器類のほか、かわらけの破片や木杭等の木製品、金属製品などが調査区全体から出土しています。また古墳時代～奈良・平安時代の土師器片と共に杭や板材などの木製品が確認されています。

- 調査期間 2015年7月16日～2016年3月31日／
2017年7月1日～2019年9月15日
- 事業者 国土交通省関東地方整備局
- 調査原因 高速横浜環状南線建設事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査
- 時代 近世、縄文、旧石器／近世、中世、奈良・平安、古墳、弥生
- 所在地 横浜市戸塚区原宿／横浜市栄区田谷町
- 遺跡位置 JR・市営地下鉄戸塚駅より南西約3kmの境川・柏尾川に挟まれた丘陵上／
JR大船駅の北西約2.5キロに位置し、柏尾川の支流、関谷川付近の微高地上～低地

